

アドバイザーとの連携により、これまで閉じこもっていた生徒が少しずつ外に出て人と関わりをもてるようになったケースもでてきている。対策としてはスクールカウンセラーによる相談活動の実施、担任教諭が不登校生の家庭を訪問等、絶えず生徒との関係を保ち、状態にあわせて適応教室への参加を促すなどしている。一方、保護者へも相談活動を実施し、児童、生徒の再登校に努力している。

ファーマーズマーケット

Q 朝市の建物に対する市の補助金の有無は。ファーマーズマーケットと朝市の調整はどうなっているのか。

A 朝市の建物に対する市の補助金は、平成9年度に事業費の約1/3にあたる200万円を補助している。

J Aみらいでは、消費者の食に対する安全・安心志向が高まるなか、地元で生産されたものを地元で消費するファーマーズマーケットの建設が予定されており、朝市部会の

組織を母体として、生産者組織を強化し、運営を行っていく計画で、現在、朝市部会と調整中であると聞き及んでいる。

ファーマーズマーケットは、毎日新鮮で旬の農産物が販売でき、定年退職者など比較的時間に余裕のある方の農業への参加による地域農業の活性化が図れるなどのメリットがあり、また、朝市は週2回ですが、生産者と消費者の「顔の見える関係」と相互理解が深まるなど、双方に、メリットがある。

ファーマーズマーケットは、J Aみらいが事業主体だが、効率的運営について、市も先進地調査を行い情報提供も行っている。朝市部会との調整



生産者と消費者のお互いの顔が見える朝市

もJ Aみらいからの要請があれば、積極的に取り組んでいく。市の助成は、平成9年度に農産物直売所補助を行っており、2回目の補助はできないものと考えていたが、現在、三木市にもファーマーズマーケットが建設中であるため、近隣の状況も参考に、総合的に考えていく。

ケアマネジャー

Q ケアマネジャーの仕事の内容とその配置状況について

A 要介護者やその家族からの相談に応じてその方の心身の状況や希望から適切な介護サービスが利用できるように、市町村居宅サービス事業者介護保険施設等との連絡調整を行うのが主な業務である。ケアマネジャーには、施設入所者の相談や介護計画を立てる介護保険施設のケアマネジャーと、在宅で介護を必要とされる方の相談やケアプランを作成する居宅支援事業者のケアマネジャーがあり、市内では12月1日現在で7施設12名の施設のケア

マネジャーと、12事業所の29名の居宅支援事業所のケアマネジャーに活動をいただいている。

加西病院

Q 小児科医が1人しかいないので、第2、第4金曜日の2日しか救急の対応はできないという小児科医不足について。

A 大学に働きかけて、来年の4月には1名増になる予定。北播磨管内での小児救急の回数もそれにより増やせると考える。

行政評価

Q 市民への行政サービス向上を主眼とした行政評価システムの導入が当市でも必要ではないか。現在の評価システムでは行政サービスを自ら監視、改善していくことができるのか。

A 平成15年度事業を総括している段階である。行政評価システムの導入については本年より本格実施

しているが、システムの不備や職員の慣れといったこともあり、システムの運用についても今後より良い行政サービスの施行に向けて改善していく。

機構改革

Q 再建計画では5年で19名、10年で57名の削減でしかない。組織の大幅な見直し17年から3年間はどうしても補充が必要な職種以外は採用を見合わせることはできないか。

A 組織の見直しは常に必要。現在、庁内で効率的な事務の執行を行うため、係等の統廃合等について検討している。職制の簡素化についても組織の縮小の方向で、あわせて昇格、登用についても、より透明性を図り、新しい人事制度の構築も考えていく。

短期間の職員削減は今後10年間に団塊の世代が定年を迎え現在の4名に1名が退職となる。年齢構成の平準化などを考慮しながら計画している。